

第18回 文の京都市景観賞 一次選考 講評(景観創造賞)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計(100点満点)	順位
21-1、 21-2	創-2位	文京第六中学校 (表の本郷通りより。)/文京第六 中学校(裏の中 仙道より。)	向丘1-2-15	○ レンガタイルを外壁に用いることで、同じ本郷通りにある東大のデザインを敷衍しているため、街並み形成としては素晴らしい。	90	1位
				○ 外壁の煉瓦タイルとストライプは周辺街区に対して、遠望からも、また、近くにおいても心地よいデザインとして受け入れられるものだろう。エントランスのトラバーチンも機能上配慮されつつ景観上効果的である。建物を本郷通り側に配し白山通り側を空けたこと、また、本郷通りからエントランスの通り庭を介して白山通りまで見通せることなど、建築配置計画の妙を感じる。竣工後数年を経て、建築の部位に起こる経年変化も特にマイナスになっておらず、ますます建築全体がしっかりと周辺の町並みになじんできたように思う。		
				○ 本郷通りに赤レンガとイチヨウ並木は調和しています。入口には本物の大理石が雨の当たらない部分で使われています。		
				○ 本郷通りにふさわしい煉瓦色を基調とした建物であり、新しさと落ち着きをともに感じさせる。周囲の環境にも調和している。部分的に大理石などを配し文化性も豊かである。		
				○ レンガ色の印象深い。セメント造りの硬さがやわらいでいる。		
20	創-1位	文京区教育センター	湯島4-7-10	○ 横線を基調とした壁面や柱の板材などデザインの新鮮さを感じる建物である。周囲の住宅街ともよく馴染んでおり、敷地の大きさに比して圧迫感がない。好感の持てる文化性も感じられ良好な都市景観を提供している。	86	2位
				○ 空間をもデザインした建築。風通しの良い空間が心地良い。中の構造も新しい発想。		
				○ 接道する二つの街路に対して、広い前面広場を確保し樹木を配している。順調に生育している樹木がさらに成長し、センターの2階部等を街路から覆い隠すようになると、開放的な地上部のエントランスや開口部が、現在とは違った景色で見えてくるに違いない。今後の周辺街区への景観面での貢献が期待される。		
				○ 木材と擬木のルーバーが効果的に使われているおり、周囲にうまく溶け込んでいる。		
○ 木材とコンクリート、ガラスの調和が見事です。周辺の住宅からも静かさが伝わって来ます。						

受付番号	予選考順位	名称	所在地	講評	計 (100点満点)	順位
33	創-8位	「文京総合福祉センター」と利用者の足「B-ぐる」	小日向2-16-15 先	○ 福祉ビルに適した新しく効率的構造、広さもゆったり周りとの違和感ない。	80	3位
				○ 最近できたこの公共施設は、落ち着いた色調と歴史性を感じさせる縦格子が連続する文京区らしい景観を醸し出している。また、コミュニティバス乗り場も建築内へ巧みに取り込んでいる。		
				○ 神田上水の跡を残しつつ、カフェテラスをルーバーで目隠ししながら、緩やかに外に開いているデザインがよい。		
				○ 建物の直線的だが柔らかな壁面が良好な景観を作っている。黒田藩邸由来の説明が設けられて歴史性も明確。併設されたカフェなどで住民に親しまれている。B-ぐるの駐車場が前面にあり、B-ぐるとの親和性も自然な景観として受けとれる。		
				○ 小日向の傾面を活用して威圧感なく、B-ぐるバス停でもあり、カフェも併設され優しさを感じます。		
13	創-3位	文京区立第三中学校 正門	春日1-9-31	○ 校門を覆う大木の緑が奥行と深さを感じられる学び舎の伝統と格調を連想します。	75	4位
				○ 静かなたたづまい正門付近の樹木並木も美しい。		
				○ 安藤坂から見て、正門から地形上やや上方に建つ建物へ向かう通路はスロープになっており、両脇に整然と並ぶ樹木と相まって、いかにも学校らしい奥行感ある構図の景観を造りだしている。また、正門の両側に在る、扇形に開いたスペースの緑地帯も効果的である。ただ、この景観に対して創造的というよりふるさとの象徴的景観として懐かしく感じる方が多いかもしれない。		
				△ 門に続く木立の緑が周囲にうるおいを与えている。季節によって光の差し込みなどが変化して利用者は楽しめる景観である。先進性については特に目立った点はない。		
				△ 敷地境界からひいて門扉のゾーンを形成している部分は歴史が感じられてとてもよい空間だが、先進性はない。		

受付番号	予選考順位	名称	所在地	講評	計 (100点満点)	順位
14	創-6位	洛和ヴィラ 文京春日	春日1-9-21	○ 大きな容積率が与えられた街区のなかで、一棟だけ低く抑えられた外観は周辺の町並みに対して逆に目立っている。既製品を上手に組み合わせたデザインである。また、バルコニーに設けられた袖壁が建物に奥行き感を生み出している。文京区らしいシックな色彩計画も好ましく、牛天神北野神社の参道があらためて浮かび上がる景観を生み出したといえる。	71	5位
				○ 特別養護老人ホーム建築間もなく新しさを感じた。		
				○ 安藤坂の急カーブ、一際目立つ茶色にベランダのツタや牛天神の緑に調和しています。		
				△ 木造建造物であり、ベランダ、窓辺の緑が豊かで周囲にうるおいをもたらす。全体に柔らかいデザインである。文化性、歴史性については特徴は少ない。		
				△ ベランダが緑化されている以外は、特段評価するに値しない。外壁も擬木のタイルが使われとても人工的に見える。		
34	創-8位	目白台ハウス	関口2-5-14	○ 築後年数の経たマンションで居住数も多いようですが、管理が行き届いていて周辺の家や木々に囲まれ、ひっそり佇んでいる感じです。	70	6位
				○ 地域に調和した大型マンションで管理・改修が丁寧に行われているので築50年以上とは思えない。		
				○ 築後50数年と歴史ある建造物であるが今もなお新しさを感じさせるデザインである。都市住宅の一つの優れた典型として周囲に好ましい景観を形成している。		
				△ 街路から建物を眺めると、タイル貼りの外観が一面目に入る。窓のない壁面が少々目立ちすぎるかもしれない。		
				△ モダニズムデザインは全く古びていないが、先進性には欠ける。		
16	創-8位	TY10-東京IBX データセンター	水道1-12-3	○ 住宅系と工業系ビジネス系の環境が混在する地区において、ほぼ無窓の存在感ある大きなボリュームは少々目立ちすぎるかもしれない。しかし、落ち着いた色調の外壁タイル、金属性ルーバーと背面の黒色壁から構成される市松模様、緩やかにラウンドする街路に対する配置計画等、限られたであろう予算の中で、現代性と歴史性、ヒューマンな環境性が融合されるべき都市景観への連続性が、巧みに計画され表現されている。	66	7位
				○ セキュリティ重視のデータセンターに和風門構えと植栽、要塞のような構えを変化ある壁面でソフトにカバーしています。		
				△ 建物の性格上、無機質な窓のない側壁であるが、圧迫感の少ないように工夫されたデザインである。グレートーンの壁は先進性を感じると同時に暖かみに欠け、周囲の通りとの調和にはやや違和感がある。和風の門、植栽をもう少し広くできなかつたのは残念である。		
				△ 先進的なデザインで周囲への配慮も工夫されているが、開口がない分、外部に対して閉じたイメージにならざるを得ない。		
				△ データセンターらしく無機的建物。新しい構想をうかがえない。		

第18回 文の京都市景観賞 一次選考 講評(ふるさと景観賞)

受付番号	予選考順位	名称	所在地	講評	計 (100点満点)	順位
36	ふ-1位	弓町の大クス	本郷1-28-32	○ 樹齢600年の大木だけあって周囲の景観に与える緑化効果は著しい。深い歴史性も感じられる。柵の設置や清掃状況に住民の暖かな関わりが感じられる。今後はより一層、周囲に溶け込むあり方が可能ではないかと期待される。	91	1位
				○ 樹齢600年ということで、長い歴史に裏付けられた風景として地域にねぎしている。		
				○ 数々の災害を耐え抜き、街区の景観に大きな影響を与えてきた樹齢600年という樹木である。文京区の保存樹木である大楠は所有者のもと適切に管理されている。樹木が生育する敷地の範囲だけでは、見事な樹形と樹勢を保てず、このような街並み景観は望めなかったであろう。そこには、保存樹木という公共性の担保と、周辺住民による暖かい眼差しが欠かせない。地域社会における緩やかな了解という共通認識と、自然と人工物が融合する都市の空間性、という官民の努力により景観が造られることを示す好例といえよう。		
				○ 屋敷もレストランもなくなったが、この木は残った。震災やマンション建設などから残った木は多くの人々の思い出・ふるさとに相応しい。		
				○ 隣接するレストランが新築したマンションの一階に入り全体の風情がへった。樹齢600年高さ20m幹回り8.4の巨木の存在感は素晴らしい。		
74-1、 74-2	ふ-5位	櫻木神社/ 桜木神社	本郷4-3-1	○ 全体に小ぶりな神社であるが、中に入ると清浄な空気に包まれて、うるおいと歴史性が感じられる。鶏が飼育されているのも好ましい。住民に親しまれている様子うかがえる。	87	2位
				○ 喧騒の大通りから別世界。タイムスリップした感覚、地元の方々の祈りが凝縮して残り、烏骨鶏が可愛がられている様子で解ります。		
				○ 春日通りに対し、鳥居と参道が配され、また、境内からは路地への通り抜けが可能である。また、狭小な敷地に、本殿、拝殿、手水、灯籠、等の建造物の他、安らぎをもたらす、ムクヤキンモクセイ、サクラ、モチノキ等多様な樹木類により、小さな鎮守の杜が構成されている。神社の空間構成は小規模ながらも、街区への空間的な親和性が大変高い。長い歴史と、まちに溶け込む杜と、地域住民に関係が深い祭事など、地域社会の空間と流れる時間に強い影響を与えており、極めて重要な景観要素になっていると考えられる。		
				○ 小づくりの神社であるが深閑さを感じる。由緒を知りたくなる。		
				△ 背後にそびえるソメイヨシノが立派であるものの、ソメイヨシノの樹齢の短さを考えると、今後存続するのが難しい。		

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (100点満点)	順位
22	ふ-7位	簸川神社	千石2-10-10	○ 手入れが行き届いて地元の方々に大切にされています。祭りも初詣も思い出ある方々が多いでしょう。植物園側でもあり、この地を去った人にもふるさとは？	72	3位
				○ 改修して落ち着いた景観になった。厳かな雰囲気好感。		
				○ 通り抜けが可能な境内には、自然地形の上に建つ神社はRC造と考えられる本殿と拝殿や、稲穂掛けが飾られていた棟などが配置されている。高台にある比較的広いオープンスペースで気持ち良い空間である。桜並木に沿って登る大階段も地域の景観に大きく寄与している。		
				△ よく手入れがされている神社であるが、敷地内を建造物が多くを占める構造上、区民への親近性にはやや疑問がある。文化性には優れるが緑の景観形成は普通レベルである。		
				△ 全体的によく整備されているが、境内の大半が契約駐車場になっているのが残念。		
54	ふ-7位	おばけ階段	根津	○ 町家のなかにある有名な階段。谷根千の雰囲気を醸し出す。	68	4位
				○ 高低差が大きいのは文京区の特徴、おばけ階段と命名すれば由来を知りたくなりますが、周囲の新しい建物に反して階段の古さが目立ちます。		
				○ 階段は途中で折れ曲がり眺望が大きく変化する。その屈折する傍らに立つ大木の緑が美しい。将来、道路後退により道路境界がセットバックしてもできれば残してほしい樹木である。坂道と緑が多い文京区ならではの風情ある景観である。		
				○ 独特なカーブを描く急階段は周囲のお屋敷に挟まれて、文化性を感じさせる。面白いネーミングで住民に親しまれている。		
				△ ストーリー性もあり、風情があるが、隣地の塀が一部傾斜が見られるのが難点。		
58	ふ-7位	根津バス停のある言問通り商店街の街灯	根津	○ ステンドグラス風の色を配色した街灯は昼間は目立たないが、夕方以降に通りを照らしその存在感に示している。	65	5位
				○ ユニークなデザインの街灯が立ち並び、夕暮れ時には言問通りに温かみのある景観を提供する。押し付けがましくなく、うるおいの町並み形成に貢献している。生活する住民に懐かしい景観を自然な形で提供して、ふるさと景観賞にふさわしい。		
				△ 古い街並が残る商店街、工夫された街灯も素敵でしたが、写真の夜と昼間では景観に相当な誤差を感じます。		
				△ 同様の景観は他にもありそう。ここだけの強い特徴を感じない。現地視察を実施した時間帯が応募の意図と異なる。		
				△ 夜の灯がうまくデザインされているが、昼間見ると少しデザインがそぐわない。		

受付番号	予選考順位	名称	所在地	講評	計 (100点満点)	順位
39	ふ-5位	千駄木ふれあいの杜	千駄木1-11	○ 周辺に住む住民と子供たちにとっては、大きな存在感を示す小さな森である。管理が行き届いた公園の緑も有難いが、野趣あふれる森とのふれあいが子供に自然の奥深さを垣間見させ、心の中に景観の多様なものを生じせしめたかもしれない。	64	6位
				○ 都心の住宅街にあって貴重な緑の森であるが、入り口が狭く、通り抜けができない構造になっており、利用者が限定される。草の丈も高く、木々や道の手入れが行き届いていない。間口を広げたり散策路の工夫など改善すれば住民がもっと利用できる憩い緑地となるであろう。		
				△ 残された手付かずの自然とは聞こえ良いですが、自然は人工の手で活きると思う。管理状態の悪さは愛着あるふるさとと言い難いです。		
				△ 武蔵野の面影をそのまま残す雑木林、残されていたことに驚く。但し開園時間に制限がある。		
				△ 貴重な自然環境であるものの、整備が行き届いていないのが残念。		

第18回 文の京都市景観賞 一次選考 講評(景観づくり活動賞)

受付番号	プレ選考順位	名称	講評	計 (100点満点)	順位
9	活-1位	千石界限クリーン 作戦 ~千石護美隊	○ 地域活動は住民の一体化が重要なポイント、定期的 に集まり、雑然とした千石の交差点周辺に下町的人 情を感じます。6年の継続もスゴイです。	88	1位
			○ ボランティア活動で地域の美化の実践は容易では ないだろうが、継続した活動が自然な状態で周囲の住 民を巻き込んだようである。6年間の継続と地域住民 に認知された実績は素晴らしい景観づくりの活動と言 える。		
			○ 毎月1回の清掃活動は、6年継続されている地道な活 動で、周辺地域の景観づくりを促進するうえで貴重な ボランティア的行為になろうかと思えます。また、活動 が地域へ少なからず影響を与えていることが想像でき ます。この献身的活動を評価したいと思います。		
			○ この継続的活動がこの地域の景観を維持するとともに 地域の認知度も評価される。		
			○ 活動の趣旨は素晴らしいが、清掃頻度が週一回程度 はあるとさらに良いと思う。		
6	活-2位	文京区坂道マップ	○ 起伏多い文京区の地形を表現したうえで名のついた 坂道が示されています。散歩が楽しくなるシンプルな 地図づくりとともに、電子化など普及の工夫を取り入 れた活動を評価したいと思います。	84	2位
			○ 地域活動としてアプリ開発と結びつけたところが評価 される。今後このような活動が広がると考えられる。そ の端緒との点でも評価される。		
			○ 文京区に坂みちは必須。由来と歴史があり、坂を通し て区に関心を持ってもらえる。更にアプリのゲーム感 覚で上る坂みちも体感出来るアイデアだと思います。		
			△ 坂道の多い文京区にあって、いろんな坂道を歩いて みようとする時に大変役立つアプリである。アプリを通 して文京区の坂道の再発見にもつながり、利用価値 は高い。営利企業の制作、提供であり、アプリ配信の ビジネスモデルが気になるところではある。		
			△ アプリとの連動がよいが、プログラムとしては単なるス タンプラリーにとどまっているのが惜しい。		

受付 番号	プレ選考 順位	名称	講評	計 (100点 満点)	順位
4-1、 4-2	活-3位	第3回伝通院納涼 盆踊り大会	○ 由緒ある伝通院に参加者を増やし発展的盆踊り開催は新たな景観ともなり評価される。他と異なる特徴があるとよい。	63	3位
			○ 地域活動の盛んさを感じます。高齢化や商店街の衰退に伴って、祭りが開かれない所もある中、地域への広がりを期待します。		
			○ 楽しい傳通院の盆踊り大会の雰囲気が伝わってくる、また、周辺住民の皆さんのつながりを感じる活動です。		
			○ 盆踊りイベントの集客、認知度も向上しているようである。		
			△ 近隣の学校を巻き込んでいる点は素晴らしいが、独創性に富んでいるのかわかりかねる。		
5	活-5位	三盛まつり2018	○ 地域との密着度が高い。バリエーションに富んでいる。	60	4位
			○ 老若男女問わず町会や商店街などから集まる積極的な活動は景観づくり活動につながるものだと思います。周辺住民のつながりを促進する活動として評価したいと思います。		
			○ 商店街とのつながりも作りつつ、住民が参加する楽しい地元の祭りイベントである。		
			△ 伝統性はなく、このような活動は他地域でも見られると思います。		
			△ 一般的な地域の祭りと比べて、どこに独創性があるのはよくわからない。		

第18回 文の京都市景観賞 一次選考 講評(景観広告賞)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (100点満点)	順位
1-1、1-2	広-4位	松右衛門 Matsuemon/ 松右衛門	白山5-1-9	○ 住民、特にびーぐるの利用者に対して配慮されたベンチは色や形に工夫された素朴な意匠で好感が持て、周囲の環境によくマッチしている。また正面ガラスドアの店名デザインも簡素で好ましい。ベンチ、店舗正面ともに白山通りの舗道と調和のとれたデザインである。	74	1位
				○ 建築的要素が道路へ越境していることもない。清潔感ある店構えが印象的である。店前のベンチがとても可愛らしく、店舗の良いアクセントになっている。		
				○ 渋い青緑の木製ベンチは傾斜に合わせて脚の高さを調整しています。バス待ちにちよつと座ると心安らぐ感があります。		
				△ 1つのアートとしては面白いが景観との関連性は薄い、広告の意味は少なく感じるが。		
				△ 店構えとしては、ごくごく一般的で、創意工夫があると思えない。		
14	広-5位	童心社	千石4-6-6	○ 建物規模の大きさに比べると社名が描かれたサインは小ぶりである。しかし、雨除けの金物や独特の断面形状、清々しい雰囲気 of 字体など、サインデザインに細心の注意が払われていることがわかる。建物の素材感と大胆なフォルムに呼応する外連味ないデザインの広告体である。	71	2位
				○ 住宅街にあつて、目立たぬように設計された本社ビルとともにサインも控えめながら圧迫感がなくて存在感のあるデザインである。広告・サインとして小さくて強いというこれからのあり方を示唆する。		
				○ 目立たないが丁寧に作られているので広告効果ある。		
				○ 住宅街の景観に合わせた色と植栽に同化する控えめな看板は周囲への配慮が十分感じます。イベントのポスターが残念でした。		
				△ 建物は周囲と調和しているが、広告としては十分な役割を果たしているとはいえず、単なる表札にすぎない。		

受付 番号	予選考 順位	名称	所在地	講評	計 (100点 満点)	順位
8	広-7位	焼肉房家本郷 別館	本郷3-5-4	○ 一枚板の店構えは野趣あって周囲のビルから自然を感じてよいです。	58	3位
				○ 看板としてのインパクトをもちながらも、派手さをうまく抑制している。		
				○ 木彫風の外観が街路に対して強い印象を与えている。		
				○ 木をふんだんに使った門構え約10階ビルの1階。新しい焼肉レストランのイメージ。		
				△ 擬木素材の迫力ある看板及び入口門柱は野手があり目をひくデザインではあるが、景観の波及は店舗前面あたりに止まり周囲の環境にまで広がっていない。		